



着信音

- [着信音に関する情報](#) (1 ページ)
- [着信音を設定する](#) (2 ページ)
- [着音の設定例](#) (7 ページ)
- [着音の機能情報](#) (8 ページ)

着信音に関する情報

呼出音の鳴り分け

固有の呼び出し音は、内部および外部の着信通話を識別するために使用されます。内部コールは、Cisco Unified CME に登録されている、またはローカル FXS ポート経由でルーティングされる任意の Cisco Unified IP Phone から発信されるコールとして定義されます。

Cisco CME 3.4 以前のバージョンでは、ローカル SCCP エンドポイントへのすべての通話に対して標準の呼び出し音パターンが生成されます。Cisco Unified CME 4.0 では、SCCP エンドポイントに対して次の固有の呼び出し音機能がサポートされています。

- 特定の内線番号が表示されるすべての電話機で、その内線番号へのすべての種類の着信コールに使用される3つの呼び出し音パターンのいずれかを指定します。電話がすでに使用中の場合、着信はキャッチホンとして表示され、独特の着信待ち受けビープ音が使用されます。
- 着信番号が `ephone-dn` に定義されたプライマリ番号またはセカンダリ番号と一致する場合にのみ、独特な呼び出し音を使用するかどうかを指定します。`ephone-dn` にセカンダリ番号が定義されていない場合、セカンダリ リング オプションは効果がありません。
- 異なる電話機が同じ電話番号を共有していても異なる呼び出し音スタイルを使用できるように、機能リングパターンを電話機の特定のボタンに関連付けます。

ローカル SIP エンドポイントの場合、要求された呼び出し音の種類は、アラート情報シグナルを使用して電話機に通知されます。識別呼び出し音が有効な場合、Cisco Unified CME は、Cisco Unified CME に登録されていない電話機からローカル エンドポイントへの着信コールに

対してアラート情報を生成します。着信側からのアラート情報は、内部で生成されたアラート情報が優先され、発信側に中継されます。

Cisco Unified IP 電話は、標準の Telcordia Technologies の固有の呼び出し音タイプを使用します。

カスタマイズされた着信音

Cisco Unified IP Phones には、Chirp1 と Chirp2 の 2 つのデフォルトの着信音タイプがあります。Cisco Unified CME は、パルス符号変調 (PCM) ファイルを使用したカスタマイズされた着信音もサポートします。

RingList.xml という XML ファイルは、Cisco Unified CME に登録された IP 電話のデフォルトの着信音に使用できる着信音オプションを指定します。DistinctiveRingList.xml という XML ファイルは、Cisco Unified CME に登録された IP 電話の各回線で利用できる着信音を指定します。

保留インジケータ

保留インジケータは、通話を保留にしているアイドル状態の IP 電話で呼び出しバーストを生成するオプション機能です。通話を保留にしている使用中の電話機に対して、通話待機ビープ音を生成するオプションがあります。この機能はデフォルトで無効に設定されています。構成情報については、[保留インジケータの設定 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

保留状態の LED カラー ディスプレイ (I-Hold と呼ばれます) は、Cisco Unified CME 4.0 (2) 以降のバージョンでサポートされています。I-Hold 機能は、Cisco Unified IP Phone 7931G などのサポートされている電話機の共有回線でのローカル保留とリモート保留を区別するための視覚的なインジケータを提供します。この機能には追加の構成は必要ありません。

着信音を設定する

識別音の設定

ディレクトリ番号へのすべての着信コールの呼び出し音パターンを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。

手順の概要

1. 有効化
2. `configureterminal`
3. `ephone-dndn-tag` [デュアルライン]
4. 番号番号 [セカンダリ番号] [登録なし [両方 | プライマリ]]

5. `ring { external | internal | feature } [primary | secondary]`

6. 終わり

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	有効化 例： <code>Router> enable</code>	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ 2	<code>configureterminal</code> 例： <code>Router# configure terminal</code>	グローバル コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ 3	<code>ephone-dn dn-tag [デュアルライン]</code> 例： <code>Router(config)# ephone-dn 29</code>	<code>ephone-dn</code> 設定モードに入り、 <code>ephone-dn</code> を作成し、オプションでデュアルラインステータスを割り当てます。
ステップ 4	番号番号 [セカンダリ番号] [登録なし [両方 プライマリ]] 例： <code>Router(config-ephone-dn)# number 2333</code>	この <code>ephone-dn</code> に有効な内線番号を設定します。
ステップ 5	<code>ring { external internal feature } [primary secondary]</code> 例： <code>Router(config-ephone-dn)# ring internal</code>	ディレクトリ番号が表示されるすべての電話機で、このディレクトリ番号へのすべての種類の着信コールに使用する呼び出し音パターンを指定します。
ステップ 6	終わり 例： <code>Router(config-ephone-dn)# end</code>	特権 EXEC モードに戻ります。

カスタマイズされた着信音を設定する

カスタマイズされた着信音を作成するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。

手順

ステップ 1 カスタマイズされた着信音ごとに PCM ファイルを作成します (ファイルごとに 1 つの着信音)。PCM ファイルは次の形式のガイドラインに準拠する必要があります。

- 未加工の PCM (ヘッダーなし)。
- サンプリング回数 : 8,000 回/秒。
- 1 サンプルあたり 8 ビット。
- mLaw 圧縮
- 最大リングサイズ - 16080 サンプル
- 最小リングサイズ - 240 サンプル
- 呼び出し音のサンプル数が 240 で割り切れること
- 呼出音がゼロ交差で開始して終了すること

カスタマイズされた電話の呼び出し音用の PCM ファイルを作成するには、これらのファイル形式要件をサポートするオーディオ編集パッケージを使用します。

サンプルの着信音ファイルは ringtone.tar ファイルにあります。 <https://software.cisco.com/download/home/277641082>

ステップ 2 テキスト エディターを使用して、RingList.xml ファイルと DistinctiveRingList.xml ファイルを編集します。

RingList.xml および DistinctiveRingList.xml ファイルには、電話の呼び出し音の種類のリストが含まれています。各ファイルには、リングタイプに使用される PCM ファイルと、Cisco Unified IP Phone の [リングタイプ] メニューに表示されるテキストが含まれています。

サンプル XML ファイルは ringtone.tar ファイルにあります。 <https://software.cisco.com/download/home/277641082>

RingList.xml ファイルと DistinctiveRingList.xml ファイルでは、カスタマイズされたリングを指定するために次の形式が使用されます。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
  <Ring>
    <DisplayName/>
    <FileName/>
  </Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

XML リング ファイルでは、次のタグ定義が使用されます。

- リング ファイルには、各電話リング タイプに必要な DisplayName と FileName の 2 つのフィールドが含まれています。最大 50 個の呼出音をリストに入れることができます。
- DisplayName は、Cisco Unified IP Phone の [Ring Type] メニューに表示される、関連付けられた PCM ファイルのカスタマイズされたリングの名前を定義します。

- **FileName** は、**DisplayName** に関連付けるカスタマイズされたリングの PCM ファイルの名前を指定します。
- **DisplayName** フィールドと **FileName** フィールドは 25 文字を超えることはできません。

以下のサンプル RingList.xml ファイルは、2 つの電話の着信音の種類を定義します。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
<Ring>
  <DisplayName>Piano1</DisplayName>
  <FileName>Piano1.raw</FileName>
</Ring>
<Ring>
  <DisplayName>Chime</DisplayName>
  <FileName>Chime.raw</FileName>
</Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

ステップ 3 PCM および XML ファイルを Cisco Unified CME ルータのシステム フラッシュにコピーします。次に例を示します。

```
copy tftp://192.168.1.1/RingList.xml flash:copy tftp://192.168.1.1/DistinctiveRingList.xml flash:copy
tftp://192.168.1.1/Piano1.raw flash:copy tftp://192.168.1.1/Chime.raw flash:
```

ステップ 4 ファイルへのアクセスを有効にするには、**tftp-server** コマンドを使用します。次に例を示します。

```
tftp-server flash:RingList.xmltftp-server flash:DistinctiveRingList.xmltftp-server
flash:Piano1.rawtftp-server flash:Chime.raw
```

ステップ 5 IP 電話を再起動します。再起動後、IP 電話は XML ファイルと着信音ファイルをダウンロードします。電話機の [設定] ボタンを押し、[呼び出し音の種類] メニュー オプションを押して、カスタマイズされた呼び出し音を選択します。

保留インジケータの設定

通話保留機能はデフォルトで利用可能です。通話が保留中であることを知らせる音声インジケータを定義するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. 有効化
2. **configureterminal**
3. **ephone-dndn-tag** [デュアルライン]
4. **hold-alert timeout**{ **idle** | **originator** | **shared** | **shared-idle** } [**recurrence recurrence-timeout**] [**ring-silent-dn**]
5. **end**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	有効化 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ 2	configureterminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ 3	ephone-dn <i>dn-tag</i> [デュアルライン] 例： Router(config)# ephone-dn 20	ephone-dn 設定モードに入り、 ephone-dn を作成し、オプションでデュアルラインステータスを割り当てます。
ステップ 4	hold-alert timeout { idle originator shared shared-idle } [recurrence recurrence-timeout] [ring-silent-dn] 例： Router(config-ephone-dn)# hold-alert 15 idle recurrence 3	保留中の通話についてユーザに警告するために、Cisco Unified IP Phone で音声アラート通知を設定します。 (注) 保留中の通話の発信者の観点から見ると、 originator キーワードと shared キーワードは同じ機能を提供します。
ステップ 5	end 例： Router(config-ephone-dn)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

SIP 電話での識別呼び出し音を有効にする

外線と内線の着信を区別するための呼び出し音パターンを設定するには、次の手順を実行します。



制約事項 bellcore-dr1 から bellcore-dr5 は、SIP 電話でサポートされている唯一の Telcordia オプションです。

始める前に

Cisco Unified CME 3.4 以降のバージョン。

手順の概要

1. 有効化
2. **configure terminal**
3. **voice register global**
4. **external-ring { bellcore-dr1 | bellcore-dr2 | bellcore-dr3 | bellcore-dr4 | bellcore-dr5 }**
5. **end**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	有効化 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ 3	voice register global 例： Router(config)# voice register global	音声レジスタ グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、Cisco Unified CME でサポートされているすべての SIP 電話機のパラメータを設定します。
ステップ 4	external-ring { bellcore-dr1 bellcore-dr2 bellcore-dr3 bellcore-dr4 bellcore-dr5 } 例： Router(config-register-global)# external-ring bellcore-dr3	外線通話に使用する着信音の種類を指定します • デフォルト: すべての着信通話に内部の呼び出し音が使用されます。
ステップ 5	end 例： Router(config-register-global)# end	コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに入ります。

着信音の設定例

内部通話の識別呼び出し音の設定例

次の例では、内線 2333 の内部通話に固有の呼び出し音を設定します。

```
ephone-dn 34 number 2333 ring internal
```

保留インジケータの設定例

次の例では、内線 2555 は、Cisco Unified CME システム内部のローカル通話を転送しないように設定されています。内線 2222 が内線 2555 にダイヤルします。2555 が話し中の場合、発信者には話中音が聞こえます。2555 が応答しない場合は、発信者にはリングバック音が聞こえます。内部通話は転送されません。

```
ephone-dn 25 number 2555 no forward local-calls call-forward busy 2244 call-forward noan
2244 timeout 45
```

着信音の機能情報

次の表は、このモジュールで説明されている機能に関するリリース情報を示しています。この表には、特定のソフトウェアリリーストレインで特定の機能のサポートを導入したソフトウェアリリースのみが記載されています。特に明記されていない限り、そのソフトウェアリリーストレインの後続リリースでもその機能がサポートされます。

Cisco Feature Navigator を使用して、プラットフォームのサポートと Cisco ソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<https://cfmng.cisco.com/>に進みます。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: 着信音の機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
呼出音の鳴り分け	4.0	ディレクトリ番号が表示されるすべての SCCP 電話機で、個別のディレクトリ番号へのすべての着信コールの着信音の選択をサポートします。
	3.4	Cisco Unified CME に登録されていない電話機からローカル SIP エンドポイントへの着信コールに関するアラート情報を生成します。
カスタマイズされた着信音	4.0	カスタマイズされた着信音機能が導入されました。

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
保留インジケータ	4.0(2)	保留状態のLED カラー表示機能を制御し、Cisco Unified IP Phone 7931G などのサポートされている電話機の共有回線でのローカル保留とリモート保留を区別するための視覚的インジケータを提供します。
	2.0	保留中の音声インジケータが導入されました。
	1.0	通話保留が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。